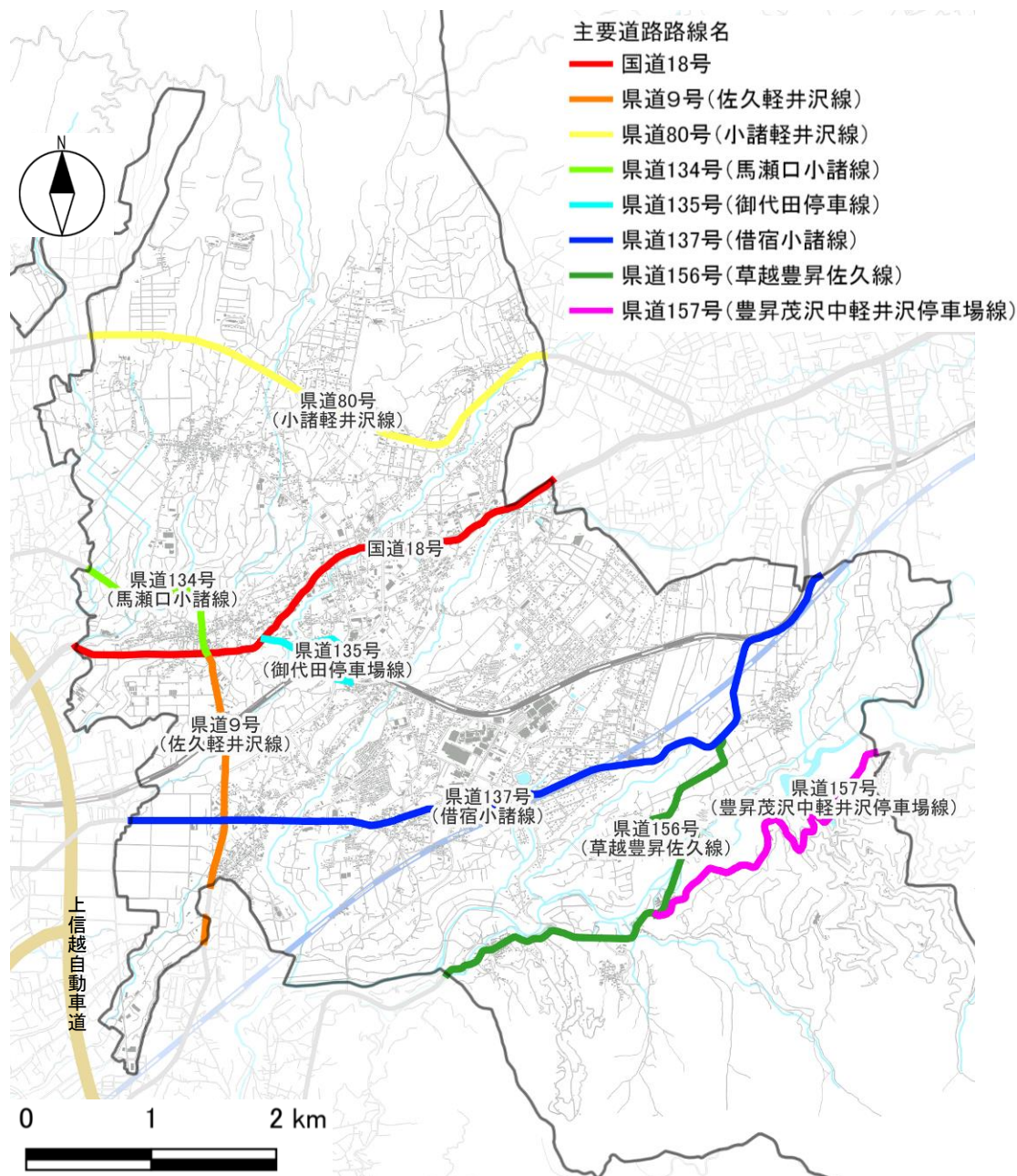


(10) 都市機能

1) 都市基盤

① 道路網

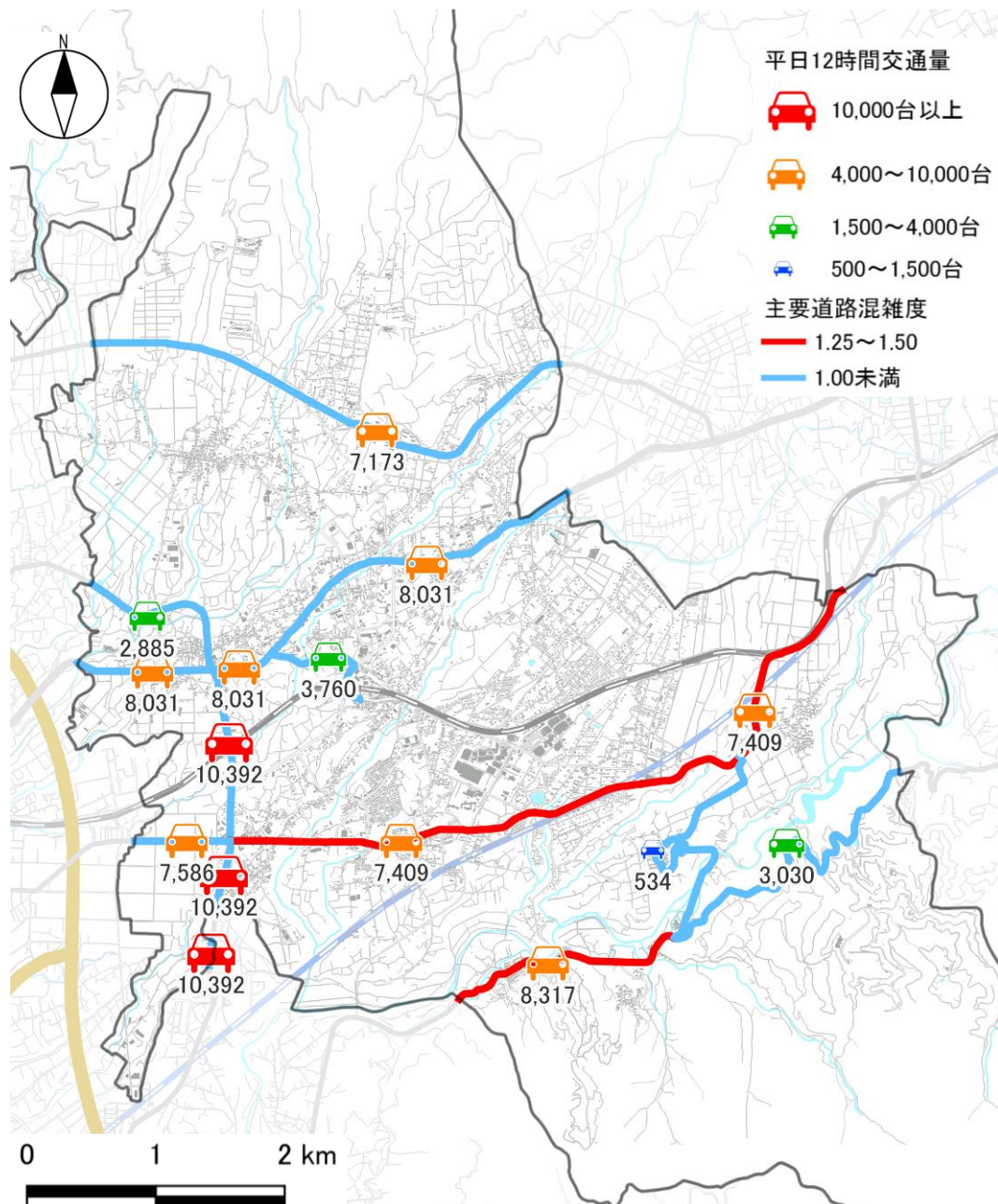
当町の主要道路は、東西方面には国道 18 号、県道 80 号（小諸軽井沢線）、県道 137 号（借宿小諸線）が、南北方面には県道 134 号（馬瀬口小諸線）、県道 9 号（主要地方道佐久軽井沢線）がそれぞれ隣接する佐久市、小諸市、軽井沢町と本町を結んでいます。また、その他には県道 135 号（御代田停車場線）、県道 157 号（豊昇茂沢中軽井沢停車場線）、県道 156 号（草越豊昇佐久線）などが町内を通っています。



出典：佐久都市計画基礎調査

図 道路網

主要道路の交通量及び混雑度をみると、最も交通量が多いのは佐久市につながる県道9号（主要地方道佐久軽井沢線）であり、平日12時間交通量では町内で唯一10,000台を超えています。しかし、混雑度でみると1.00未満であり、比較的交通の流れがよい道路となっています。対して、佐久市と軽井沢町を結び町の中心部を東西に走る県道137号（借宿小諸線）では、交通量は7,409台と若干少ないものの、混雑度は1.25～1.50となっています。南部の森林との境を走っている県道156号（草越豊昇佐久線）はまちなかからは離れており、交通量は8,317台となっていますが、同様に混雑度は高くなっています。

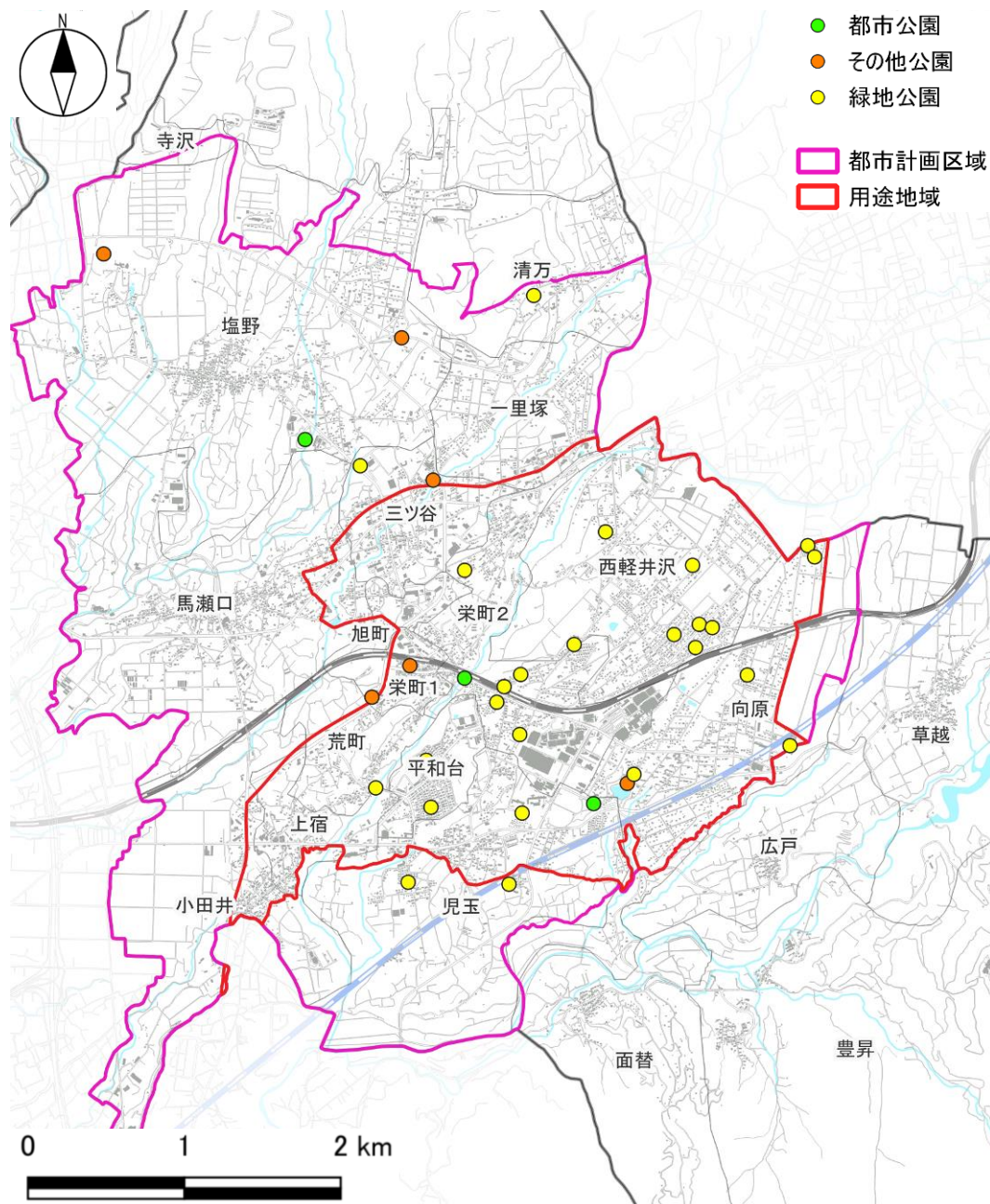


出典：佐久都市計画基礎調査

図 主要道路の交通量と混雑度（2015年）

② 公園

当町では、都市公園として雪窓公園(5.5ha)、やまゆり公園(4.0ha)、龍神の杜公園(2.8ha)が整備されています。その他にも、雪窓湖公園や、浅間しゃくなげ公園など、大小合わせて34箇所に公園が整備されています。

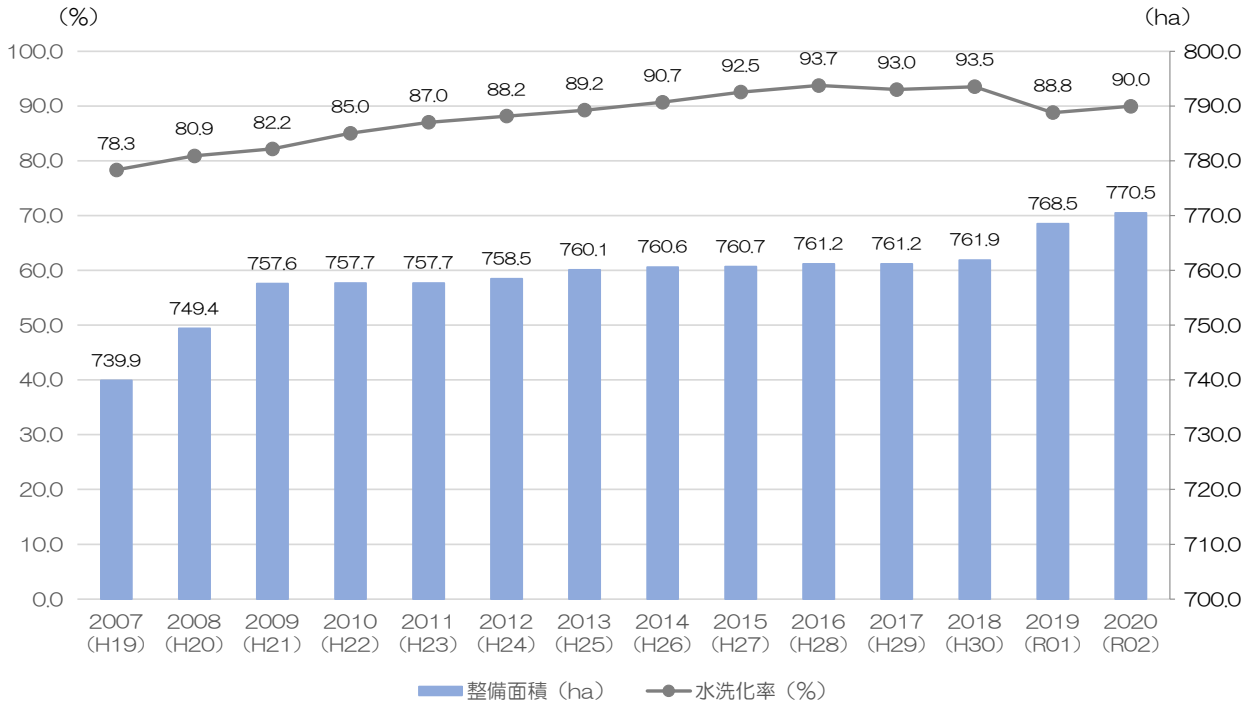


出典：庁内資料

図 公園

③ 公共下水道

公共下水道の整備面積と水洗化率の推移をみると、整備面積は平成 21 年（2009 年）以降漸増が続いていて、水洗化率も同様に漸増していましたが、令和元年（2019 年）から再び整備面積が大きくなったため、水洗化率は一時的に減少しています。

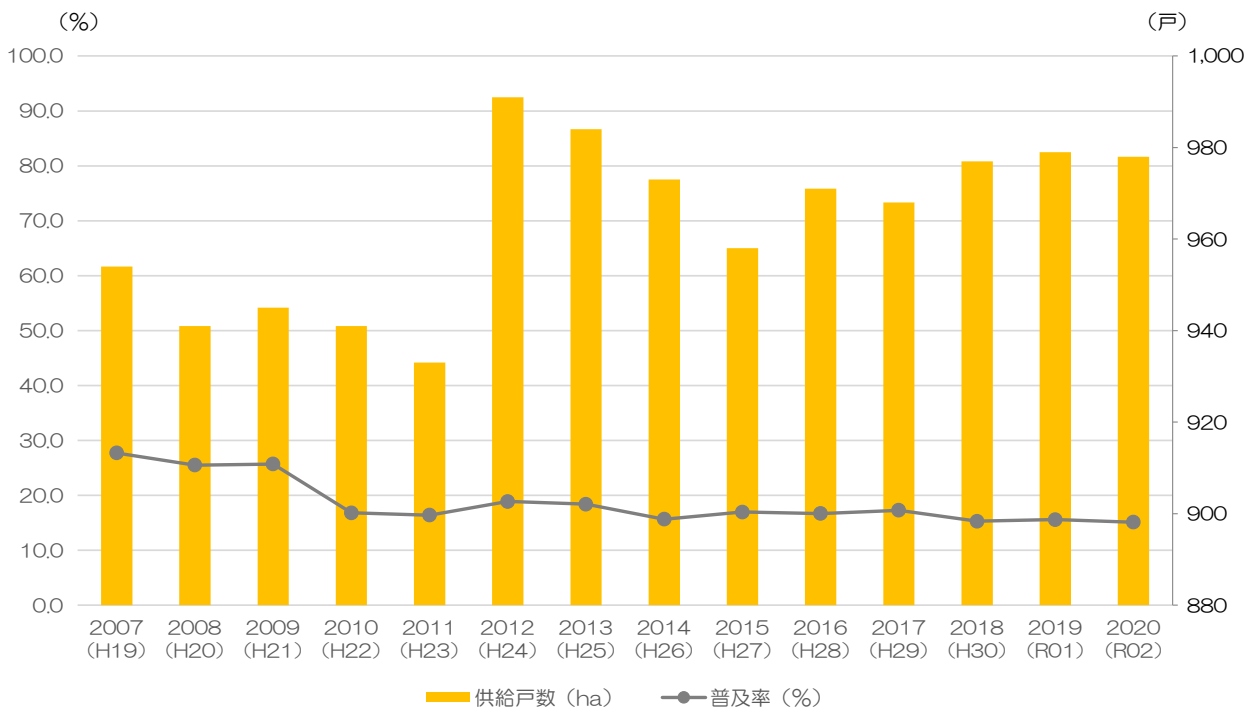


出典：御代田町統計書

図 公共下水道の整備面積と水洗化率

④ 都市ガス

都市ガスの供給戸数と普及率の推移をみると、平成 24 年（2012 年）に供給戸数が大幅に増加したものの、平成 27 年（2015 年）まで減少し、その後また増加傾向にあります。普及率は概ね 20%弱で推移しています。



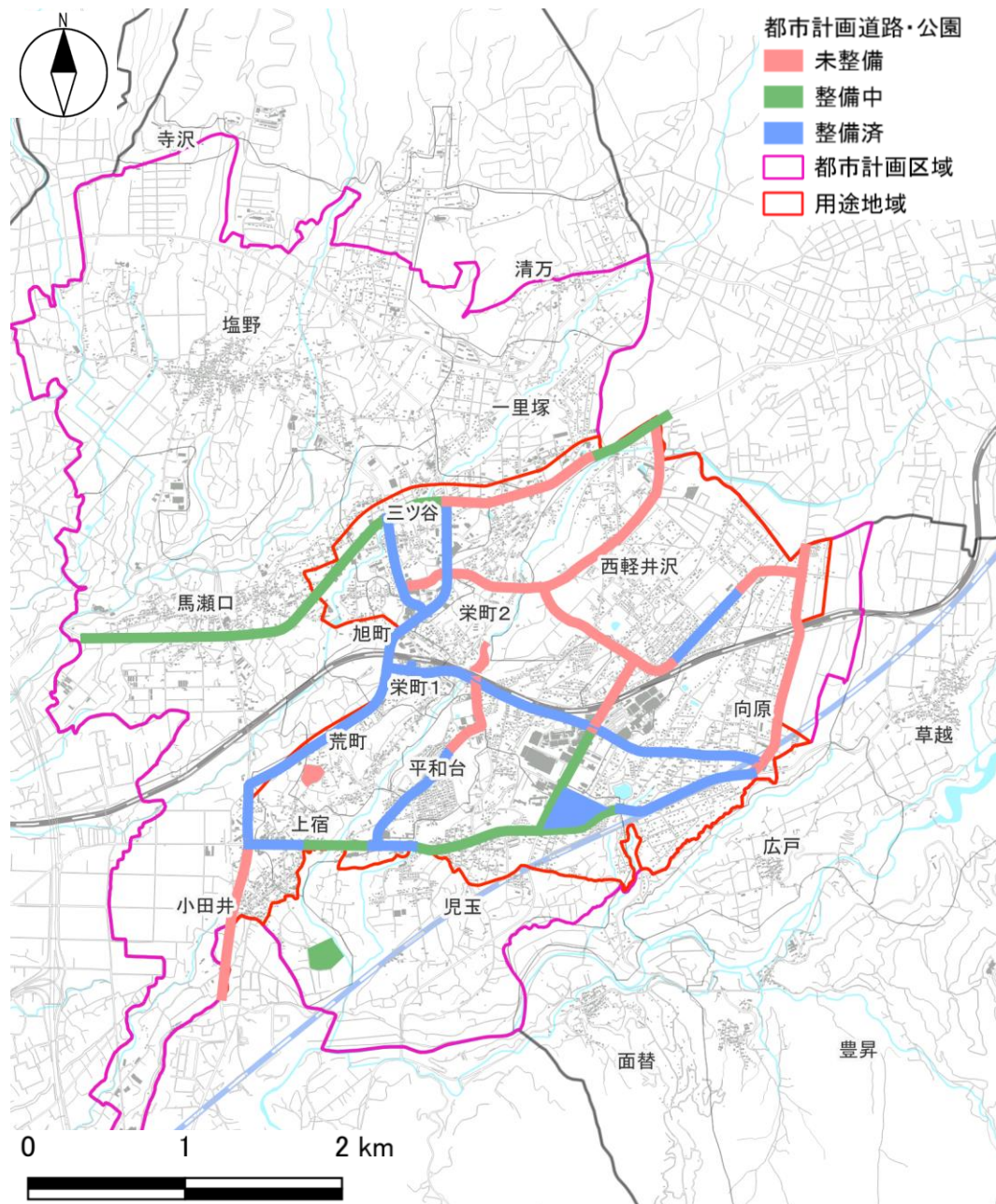
出典：御代田町統計書

図 都市ガスの供給戸数と普及率

④ 整備状況

当町では都市計画決定されている都市施設として、都市計画道路、都市公園及び公共下水道があります。

都市計画道路は26,010mが都市計画決定されており、うち8,330mが整備済み（整備率32.0%）です。都市計画決定はされていませんが、令和3年（2021年）に都市計画道路の見直し方針が公表されています。都市公園は3か所が都市計画決定されており、雪窓公園（5.5ha）は整備済みで、飯玉公園（0.85ha）、栄町公園（0.58ha）は未整備です。公共下水道は計画面積865haのうち770.5haが整備済み（整備率89.0%）となっています。



出典：御代田町都市計画道路の見直し方針（案）、佐久都市計画基礎調査
図 整備状況（2021）

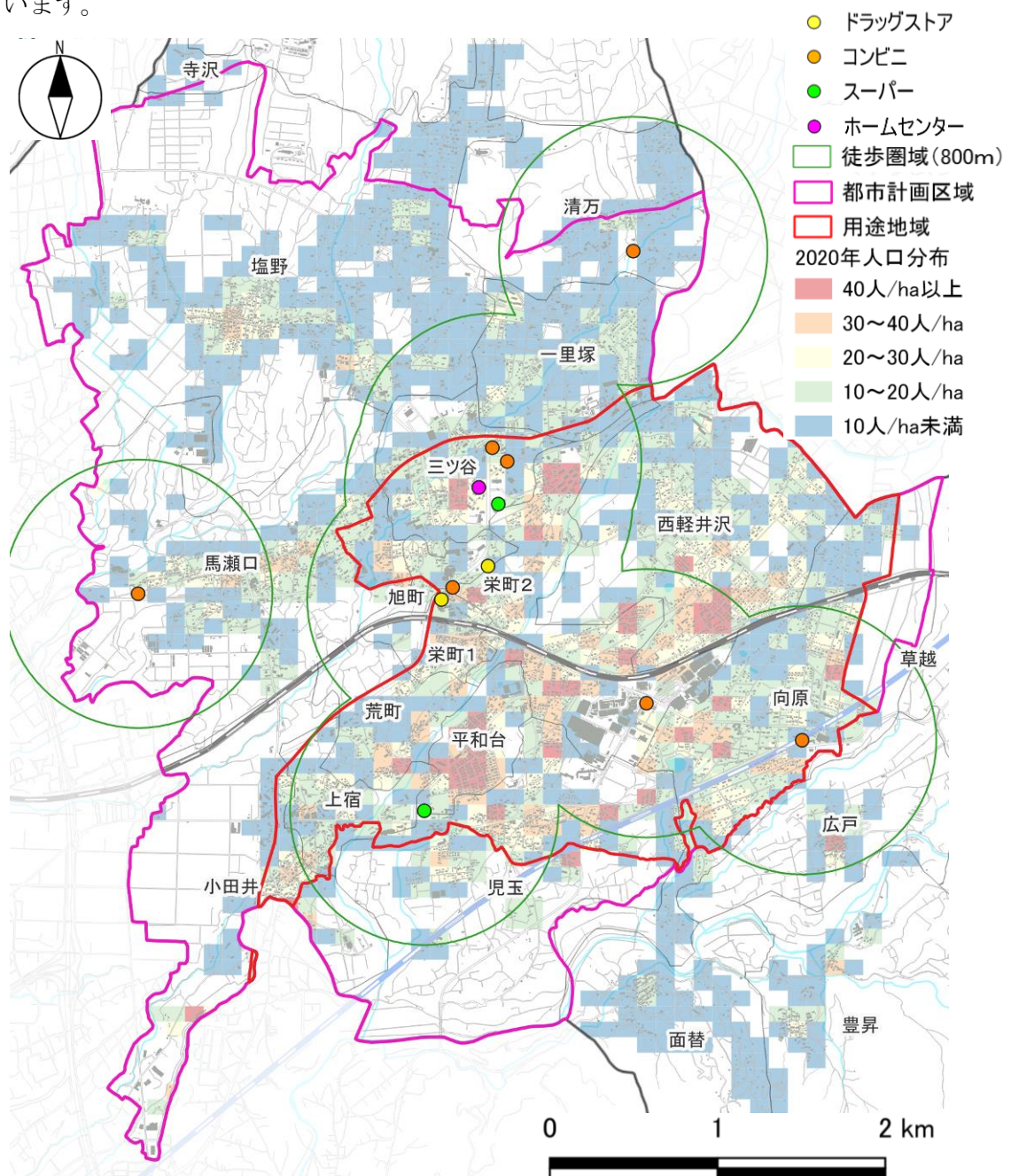
2) 生活利便施設

① 商業施設

商業施設の分布と徒歩圏（800m）をみると、スーパーが2件、コンビニが7件、ドラッグストアが2件、ホームセンターが1件あり、駅周辺北側に多くの施設が立地していることがわかります。

用途地域の大部分が徒歩圏でカバーできているものの、西軽井沢区には立地がなく、最も人口が集中している南側は徒歩圏に含まれていますが、徒歩圏から外れている地域も多くなっています。

用途地域外では、塩野区に施設の立地がなく、人口が集中している地区も徒歩圏に含まれていません。また、馬瀬口区は大半が徒歩圏内には含まれていますが、人口が集中している地域がその範囲に含まれていません。その他、小田井区、面替区、豊昇区も徒歩圏から外れています。



出典：国立社会保障・人口問題研究所

図 商業施設

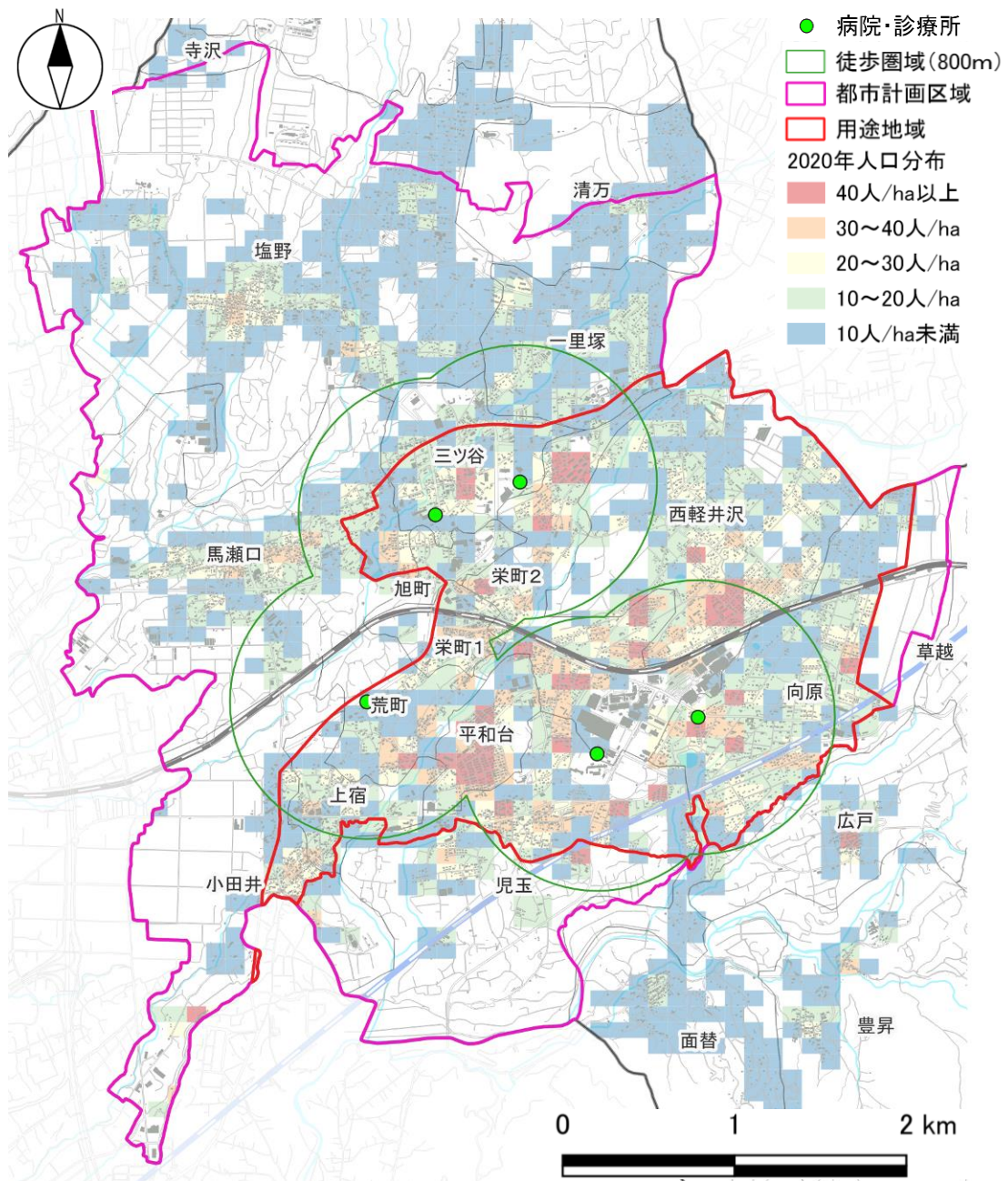
※2015（H27）年の国勢調査を基にした推計値、500mメッシュデータを建物面積で按分

② 医療

内科または外科の機能をもつ医療施設の分布と徒歩圏（800m）をみると、5件の医療施設が用途地域内に立地していることがわかります。

用途地域の大部分が徒歩圏でカバーできているものの、西軽井沢区には立地がなく、最も人口が集中している南側は徒歩圏に含まれていますが、徒歩圏から外れている地域も多くなっています。

用途地域外では、医療施設の立地がなく、馬瀬口区、一里塚区の一部を除く地域では徒歩圏からも外れています。



出典：国立社会保障・人口問題研究所

図 医療施設

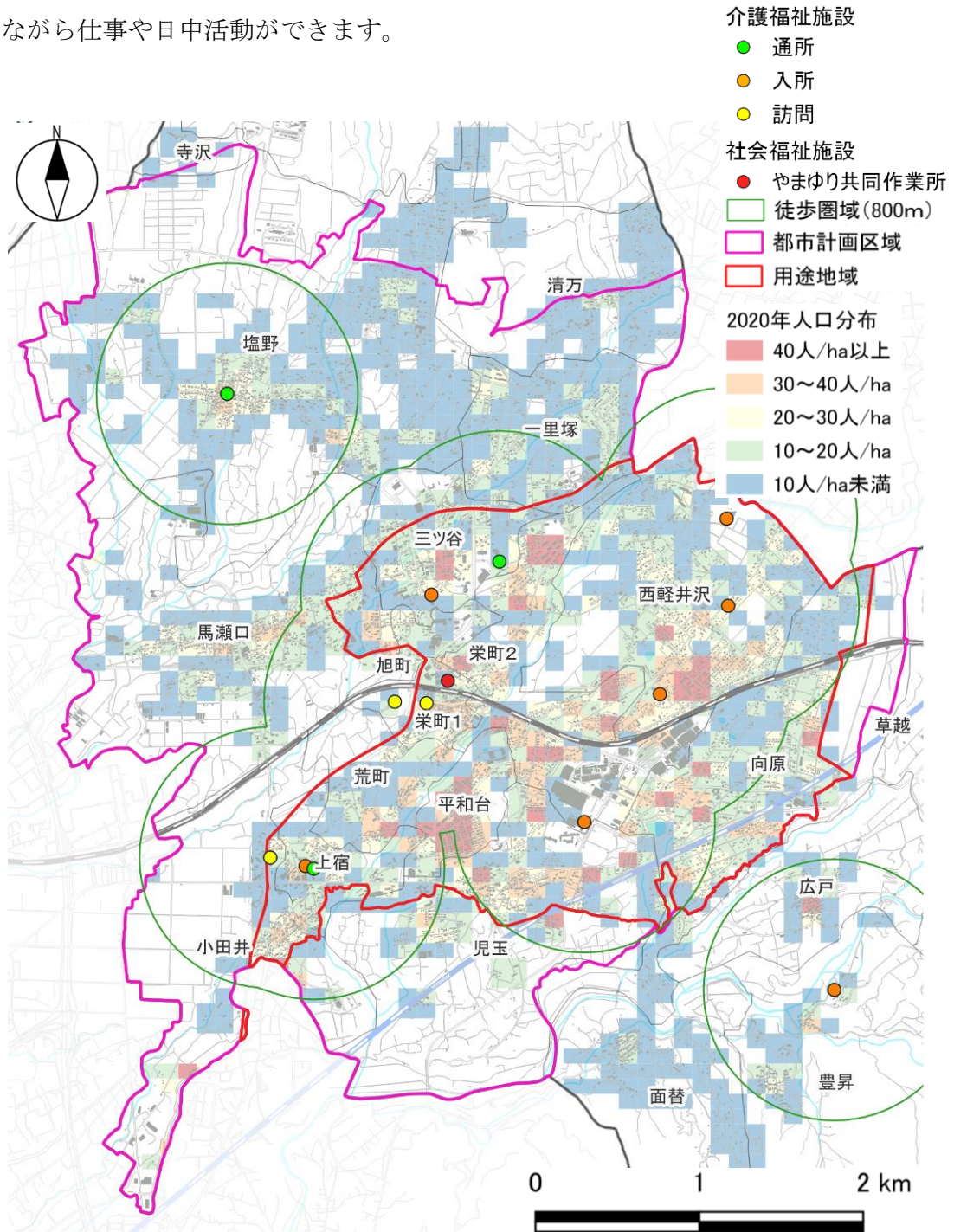
※2015（H27）年の国勢調査を基にした推計値、500mメッシュデータを建物面積で按分

③ 介護・福祉

老人介護施設の分布と徒歩圏（800m）をみると、主な分類として訪問型3件、入所型7件、通所型3件に分けられ、町内に幅広く立地していることがわかります。

用途地域内では、計9件の介護施設が立地しており、向原区の一部を除く大部分が徒歩圏でカバーされています。用途地域外では、計3件の介護施設が立地しており、塩野区、豊昇区、広戸区が徒歩圏でカバーされています。その他、馬瀬口区、面替区、小田井区は人口が集中している地域がその範囲に含まれていません。

障がい者福祉施設は用途地域内に1件存在し、働くことに障がいのある方がサポートを受けながら仕事や日中活動ができます。



出典：国立社会保障・人口問題研究所

図 介護施設

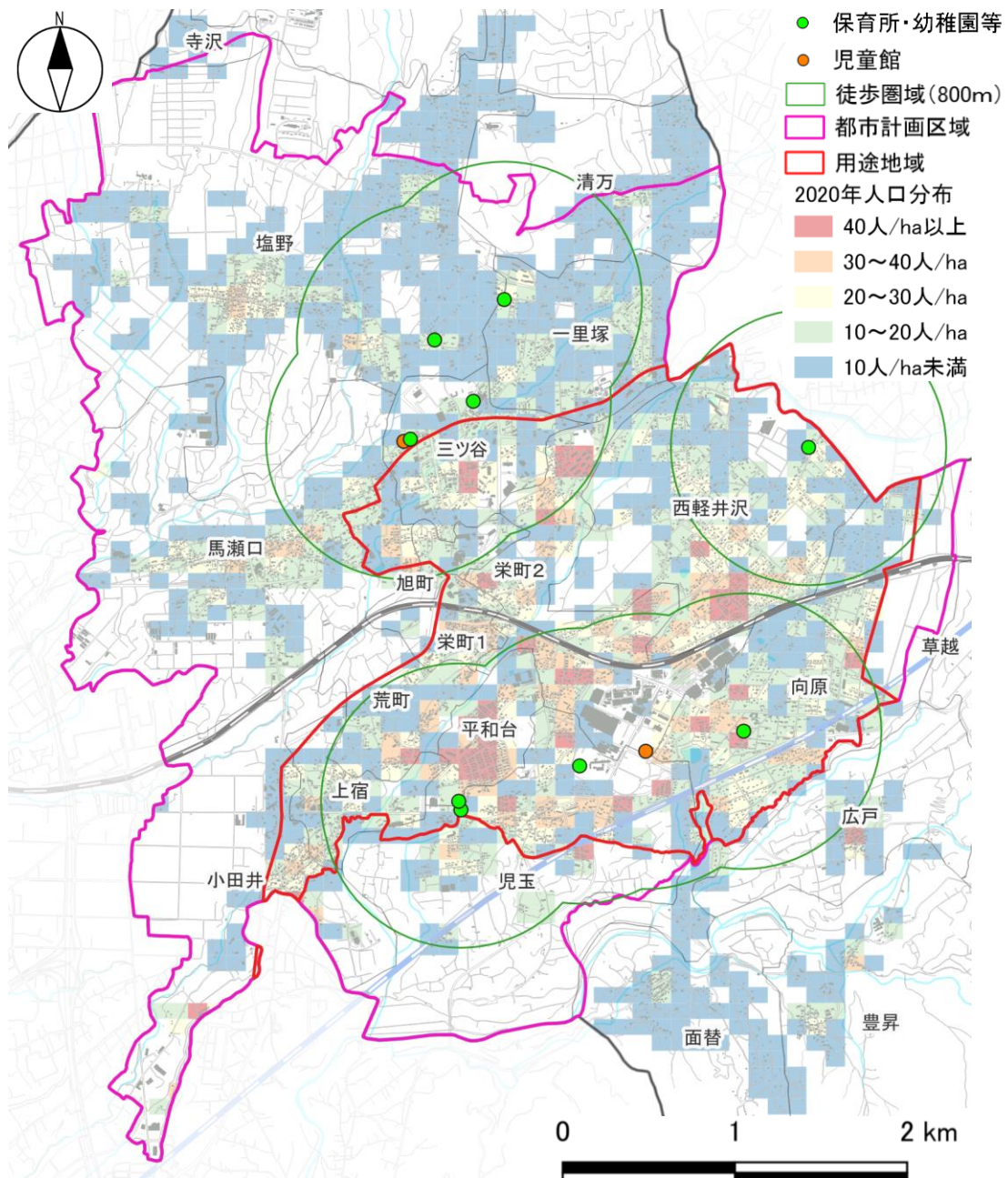
※2015（H27）年の国勢調査を基にした推計値、500mメッシュデータを建物面積で按分

④ 子育て支援

子育て支援施設の分布と徒歩圏（800m）をみると、保育所・小規模保育事業所・幼稚園9件、児童館2件があり、町内に幅広く分布していることがわかります。

用途地域内では、5件の保育所・幼稚園と1件の児童館が立地しており、用途地域の南側が徒歩圏で広くカバーされています。北側は用途地域外に立地する施設の徒歩圏でカバーされている地域もありますが、駅周辺などの中心部がその範囲から外れています。

用途地域外では、4件の保育所・小規模保育事業所・幼稚園と1件の児童館が立地しており、一里塚区、塩野区の東部、馬瀬口区の東部が徒歩圏に含まれています。その他、人口が集中している地域の多くは徒歩圏から外れています。



出典：国立社会保障・人口問題研究所

図 子育て支援施設

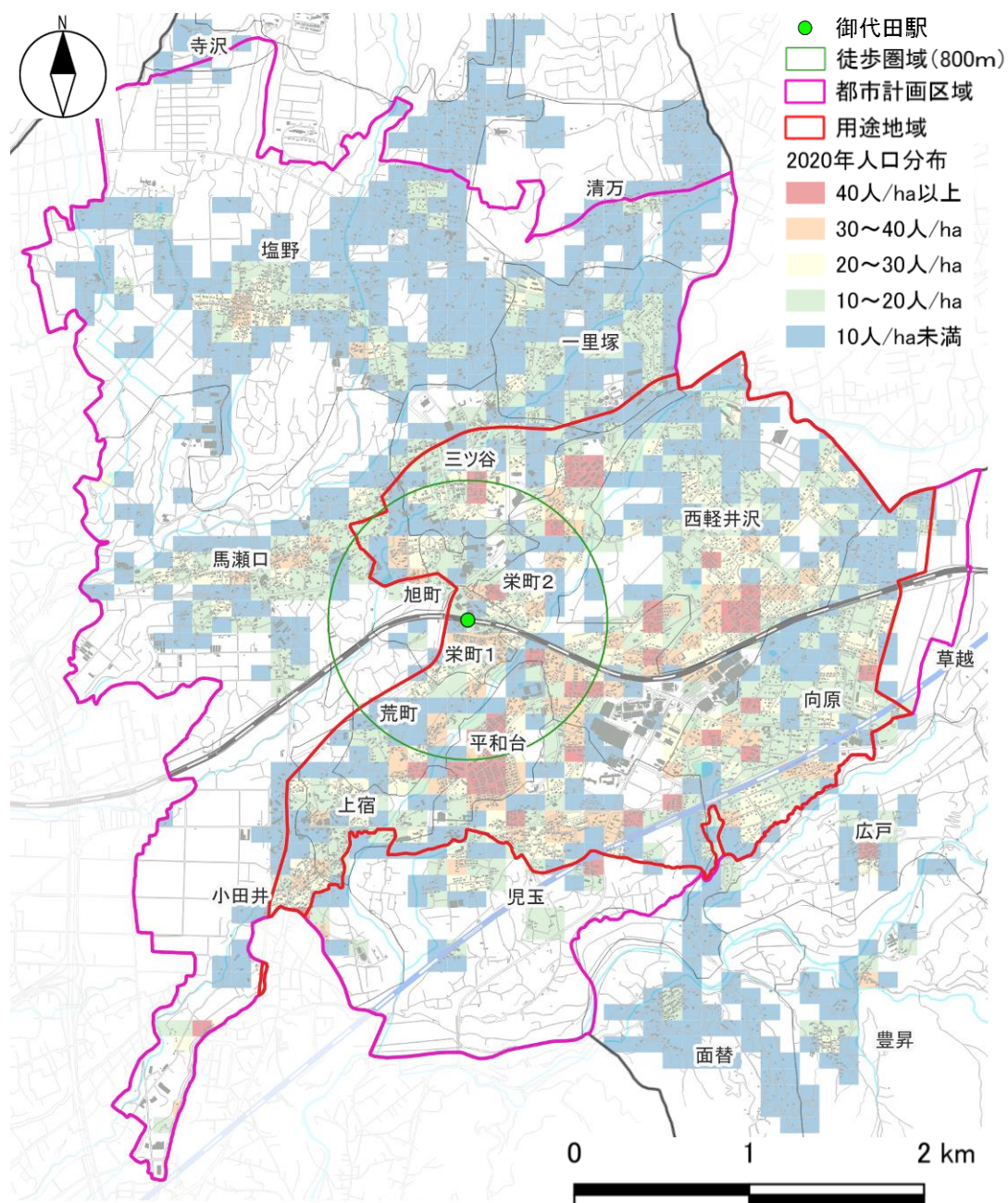
※2015（H27）年の国勢調査を基にした推計値、500mメッシュデータを建物面積で按分

(11) 公共交通

① 鉄道

当町においては、しなの鉄道線御代田駅が唯一の鉄道駅となっています。同路線内における主要駅までの所要時間は、軽井沢駅まで約15分、上田駅まで約30分、長野駅まで約1時間20分となっています。また、都心である東京駅までは、軽井沢駅から北陸新幹線を利用すると、約1時間半となっています。

御代田駅の徒歩圏（800m）内の人口比率は約16.4%となっています。



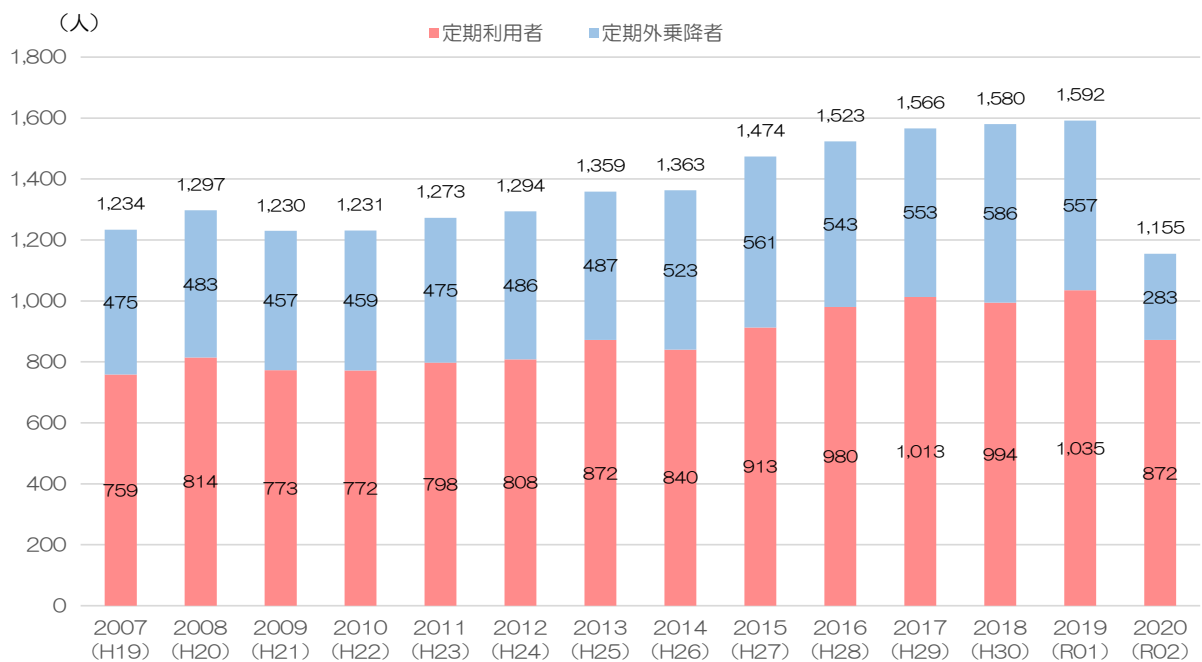
出典：国立社会保障・人口問題研究所

図 鉄道駅

※2015（H27）年の国勢調査を基にした推計値、500mメッシュデータを建物面積で按分

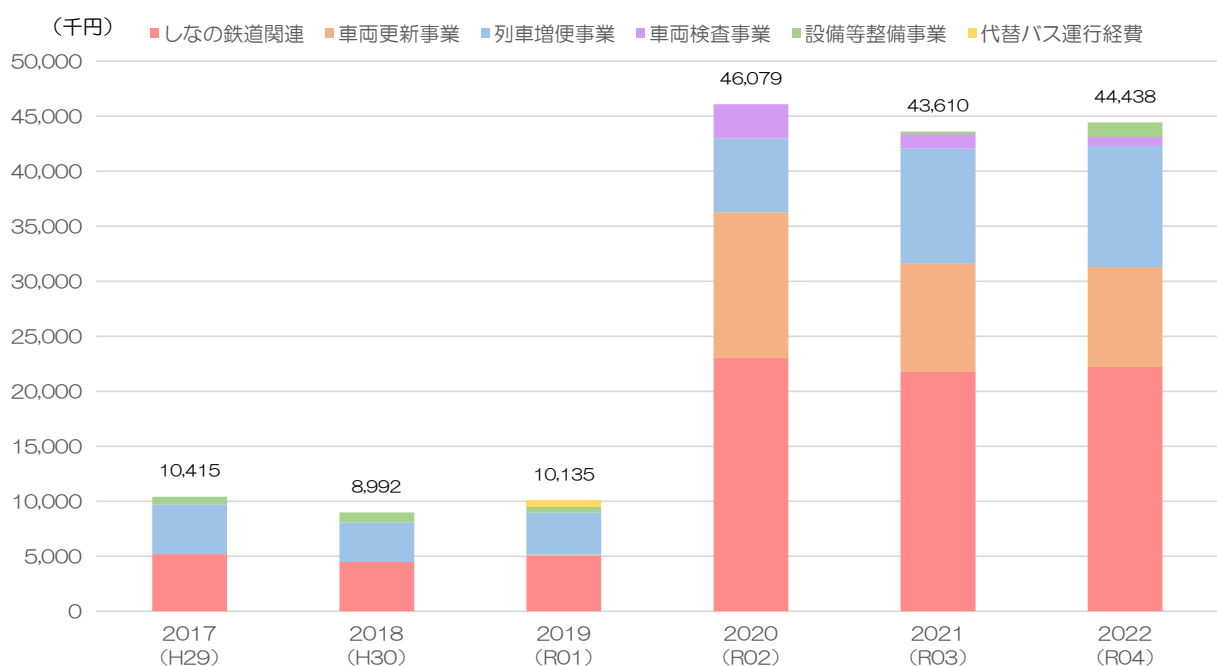
しなの鉄道御代田駅の利用者数の推移をみると、令和元年（2019年）までは漸増傾向にあったものの、令和2年（2020年）で大幅に減少しています。なかでも定期外利用者数が大幅に減少していることから、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響によって、外出を控える方が多かったと推測されます。

また、しなの鉄道関連補助額の推移をみると、令和2年（2020年）から前年度の4倍以上と大幅に増加し、その後令和4年（2022年）まで推移しています。なかでもしなの鉄道関連が大幅に増加しており、その他前年度までは見られなかった車両更新事業、車両検査事業が増加していることから、鉄道車両の点検・更新期を迎えたことが大幅な増額の要因となっております。



出典：佐久都市計画基礎調査

図 しなの鉄道御代田駅利用者数



出典：庁内資料

図 しなの鉄道関連補助額

② バス

当町においては、小諸市コミュニティバスによる塩野線及び平原線が平成28年(2016年)までに廃止となったことから、千曲バス佐久御代田線が町内を走る唯一のバス路線となっています。御代田駅から浅間総合病院(佐久市)までを結ぶ路線であり、全体で17箇所のバス停が設置されており、うち町内は6箇所となっています。運行は平日のみで、浅間総合病院方面行は朝の1本、小田井・御代田方面行は夕の1本と運行本数は多くありません。運賃は一律で大人200円、子ども100円となっています。

町内の6箇所のバス停の徒歩圏(300m)内の人口比率は約11.7%となっています。

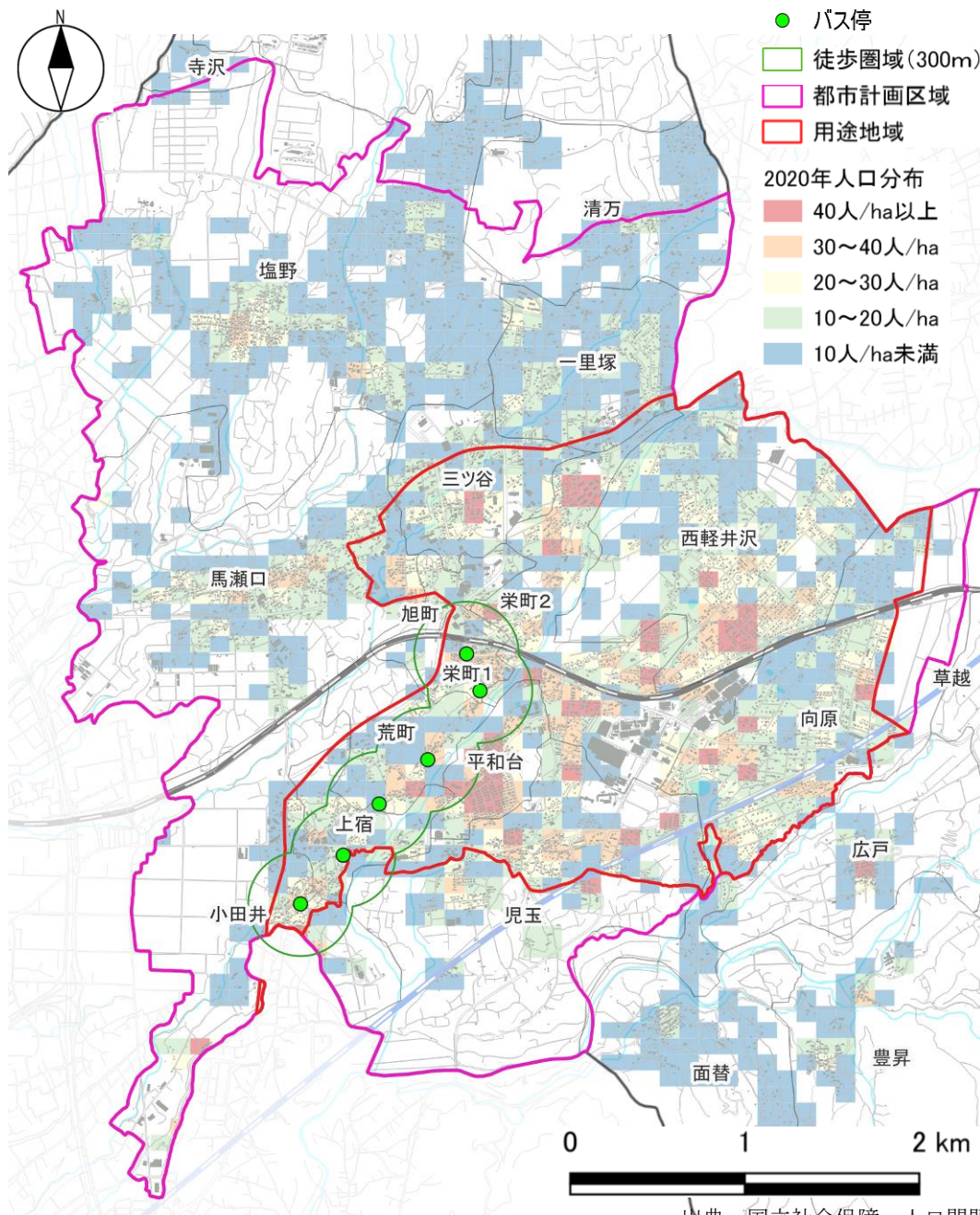
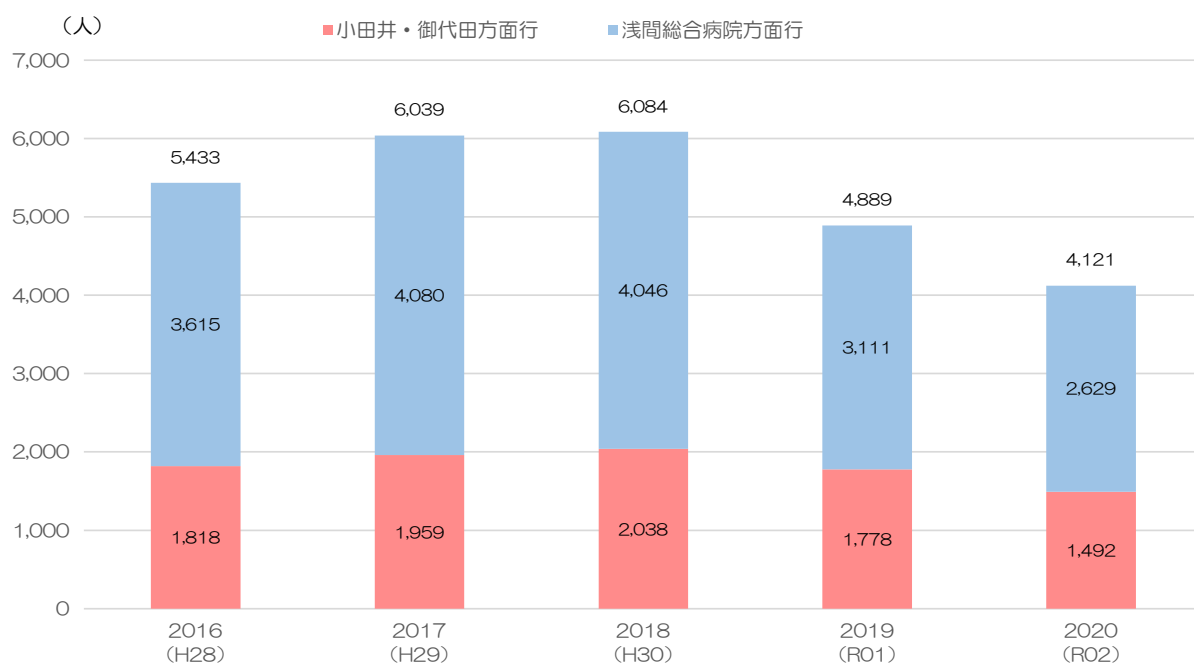


図 バス停

※2015 (H27) 年の国勢調査を基にした推計値、500mメッシュデータを建物面積で按分

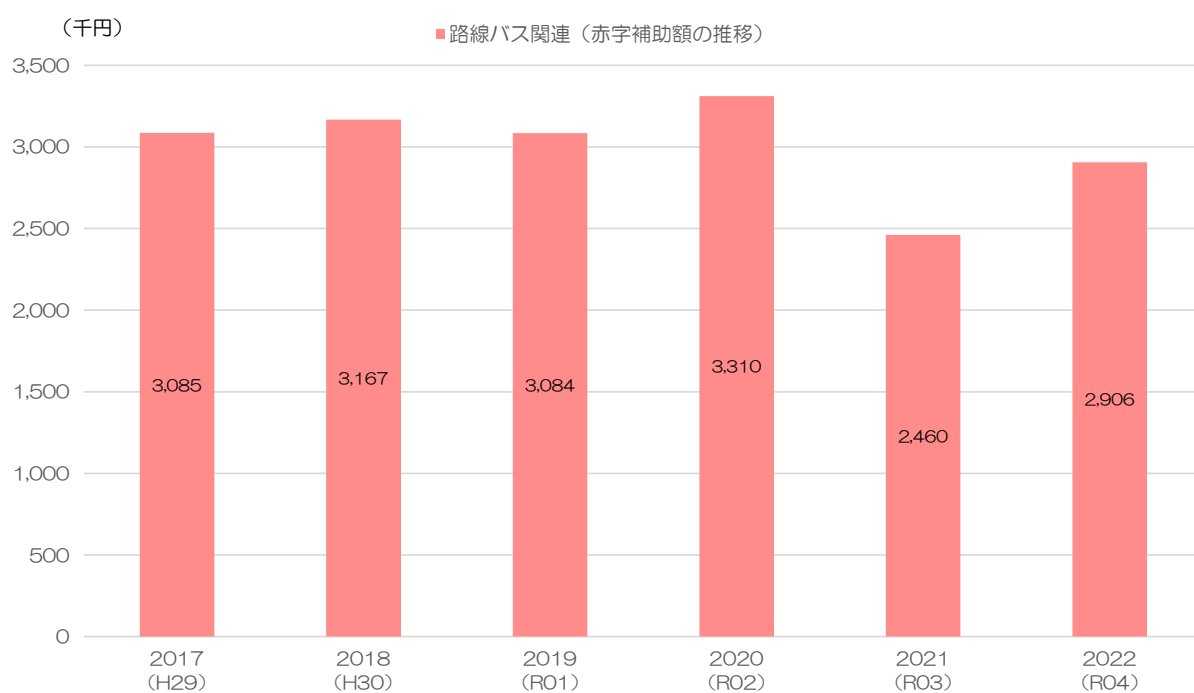
バス乗降客数の推移をみると、平成30年（2018年）までは漸増傾向にあったものの、令和元年（2019年）からは大幅に減少しています。減少の理由としては、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響によって、外出を控える方が多かったと推測されるほか、浅間総合病院方面行で利用者数の減少傾向が顕著にみられることから、1日1本しかない朝の混雑する時間帯での利用を避け、別の交通手段を用いる方が多かったのではないかと推測されます。

また、路線バスの赤字補助額の推移をみると、一定の水準で推移していましたが、令和3年（2021年）に大幅に減少しましたが、令和4年（2022年）で再度増加しています。



出典：御代田町統計書

図 千曲バス佐久御代田線乗降客数



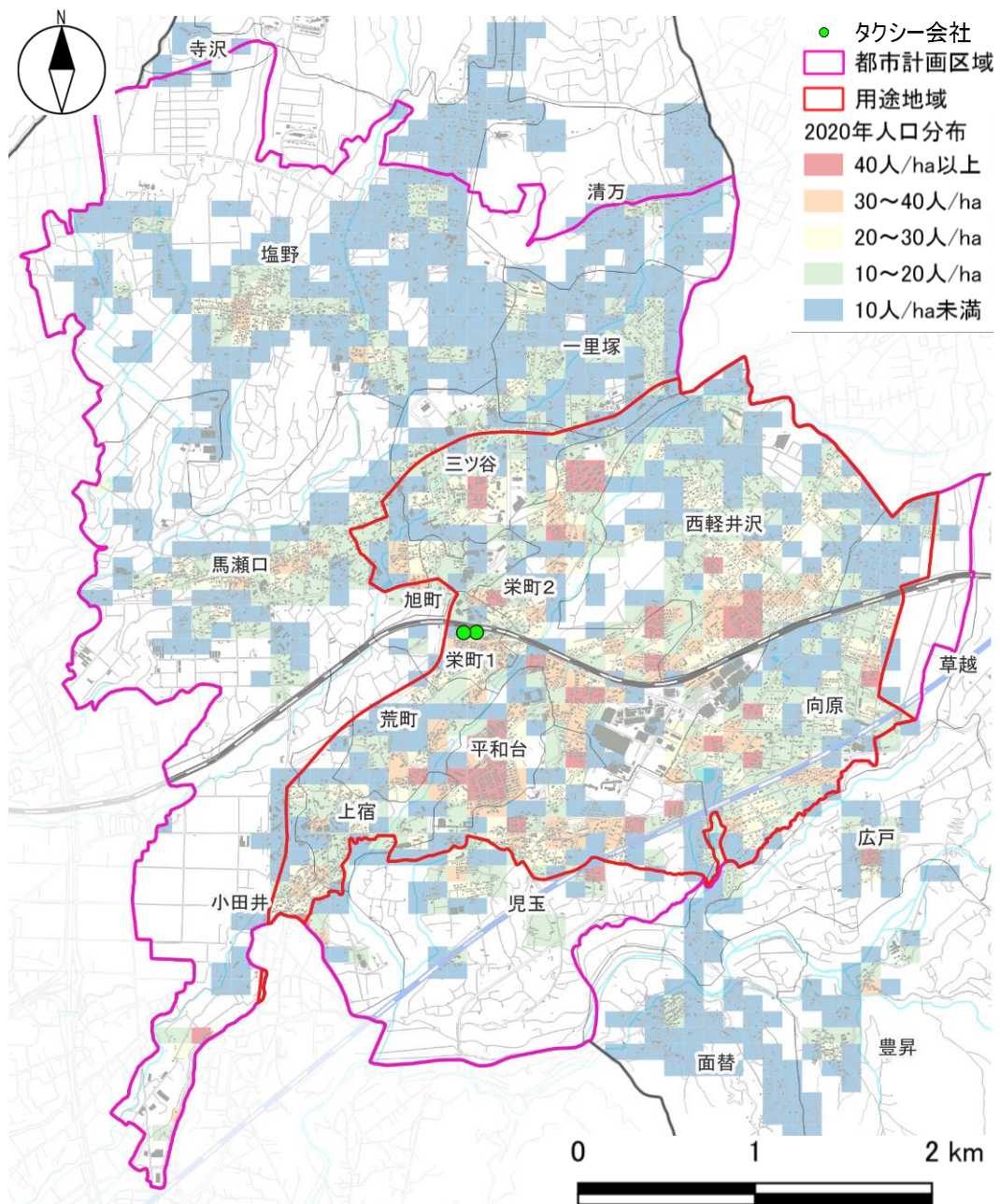
出典：庁内資料

図 路線バス関連の赤字補助額

④ タクシー

当町には、松葉タクシー有限会社、有限会社軽井沢観光の2つのタクシー会社が御代田駅前営業所を構えています。

町では主に交通手段を持たない方や障がいのある方の生活をサポートするため、タクシー会社の協力のもと、「タクシー利用助成事業」を実施しています。タクシー利用助成事業は、町内に住所がある満70歳以上の方を対象とし、また、福祉タクシー利用助成事業は、町内に住所がある70歳未満の方で、身体障害者手帳の障害程度が1～3級に該当する方、療育手帳の障害程度がAに該当する方、精神保健福祉手帳の障害程度が1級に該当する方を対象とし、1,000円まで利用することができる助成券を1枚300円（6枚が1セットで1,800円）で町保健福祉課窓口にて購入することができます。



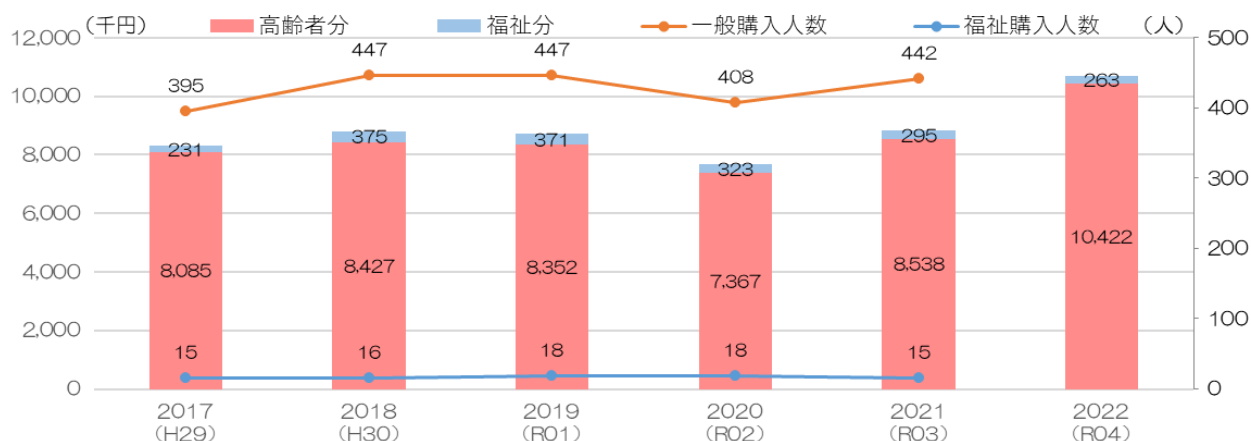
出典：国立社会保障・人口問題研究所

図 タクシー会社事業所

※2015（H27）年の国勢調査を基にした推計値、500mメッシュデータを建物面積で按分

タクシー助成金の推移をみると、タクシー利用助成事業（高齢者分）は、令和2年（2020年）で一時落ち込んだものの、その後は増加傾向にあり、令和4年（2022年）では最大となっています。減少の理由としては、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響によって、外出を控える方が多かったと推測されます。一般購入人数については、令和3年（2021年）までのデータしかないものの、助成金額と同様の傾向で推移しています。

福祉タクシー利用助成事業（福祉分）は、介護分に対して利用者数は少なく、一定の水準で推移しています。また、購入人数についても同様の傾向にあります。

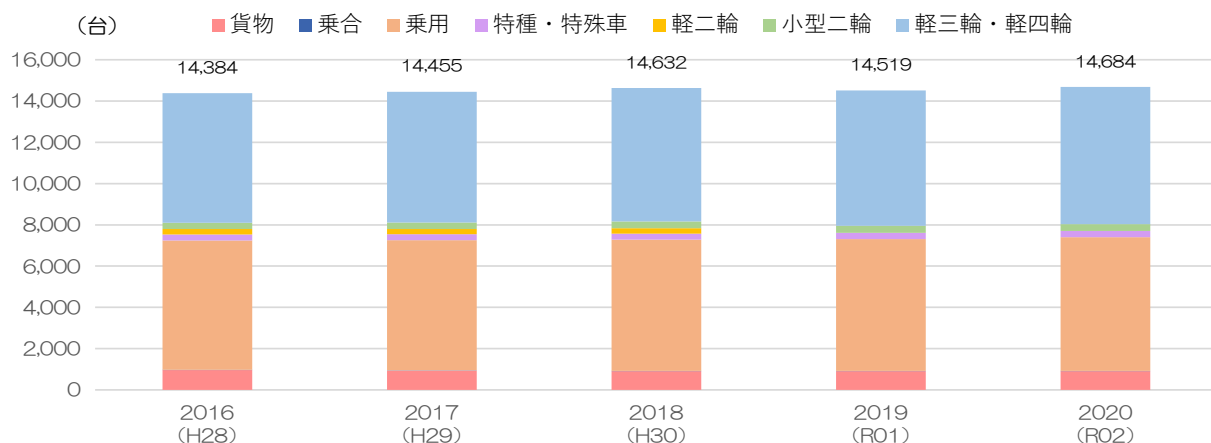


出典：庁内資料、御代田町統計書

図 タクシー助成金

また、運転に不安を感じている高齢の方の運転免許証の自主返納を支援するため、令和3年（2021年）4月より運転免許証を自主返納された町内に住所を持つ満70歳以上の方に対して、タクシー利用助成券(1,000円分)を24枚交付する、高齢者運転免許証自主返納促進事業を実施してします。

自動車保有台数をみると、近年5年間ではほとんど変化は見られず、同程度で推移しています。年々高齢者数は増加していることから、自動車を保有する方の高齢者の割合は年々増加していると考えられます。



出典：御代田町統計書

図 自動車保有台数